

集録原稿作成要領

1. 原稿構成

項目	内容
演題名 (タイトル)	「演題名」から論文の内容がイメージできるもの。必要に応じてサブタイトルを付けてもよい。
キーワード	論文の内容を表す重要な語句。この論文が、目的を持って検索しようとする人にわかりやすいようにつける。(3～5個)
はじめに	研究の社会的背景や歴史的経過、研究の意義、動機を明確に記す。先行文献を検討した旨を記す。
研究目的	この研究では何を明らかにするのか、どのような効果が期待されるのかを記す。
研究方法	どのような手法で研究に取り組んだのか、研究対象、研究(調査)期間、研究の分析・解析方法等を記す。
倫理的配慮	どのような倫理的配慮がなされたか記す。倫理的配慮については、日本看護学会誌投稿規定(2025年1月27日作成)6. 倫理方針を参照する。
結果	本研究で得られた結果やデータの事実を明確に整理して記す。必要に応じて、明瞭かつ簡潔な図、表、資料、写真等を用いる。
考察	研究の分析、得られた結果に基づいた解釈、評価、検討を行う。この研究結果から、新たな知見があるか、学問的意義があるか、普遍化できるものがあるか、特殊性のあるものなのか等を論理的に記す。「本研究の限界と今後の課題」について記述してよい。
結論	研究結果から導かれたことを記す。明らかになったことを簡潔に整理する。
利益相反	利益相反の有無により、内容を記す。
引用文献	引用文献のみ記載する。参考文献は紙面が限られているので引用文献欄に記載しない。 <ul style="list-style-type: none"> ・引用文献とは、本文中で言及(引用)されているもの。 ・参考文献とは、本文中での言及(引用)はないが、参考までに記述したもの。 ハーバード方式(著者名・発行年方式)にて記載すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・著者名(発行年). 論文の表題, 雑誌名, 号もしくは巻(号), 最初のページ数-最後のページ数. ・1文献の1文字目は空けて書き始め、2行目は1文字空けないこと(【資料4】【資料5】参照)。 ・書き方例: 本文中; この問題では、「○○○」と言われている(看護, 2020)。 引用文献欄; 看護太郎(2020). 高齢者の自己管理, 在宅ケア, 24(3), p11-22. ・著者が複数名の場合: 本文中; 徳島ら(2023)は、「○○○」と表している。 引用文献欄; 徳島健太, 高知桜子(2023). 論文の表題, …… 文献欄は、50音順、ABC順、の順に記載し、混在させない。

2. 書式

- 1) 本会のホームページより書式をダウンロードし原稿を作成。(Wordで作成)
- 2) 原稿枚数は、図表を含み、白無地のA4用紙3枚以内(6,000字程度、枚数厳守)。
提出時は1部作成し、ページ数は記載せずホチキス留めはしない。
- 3) 白黒で印刷する。カラー印刷は不可。図表・写真は、白黒印刷で明瞭に見えることを確認すること。
- 4) 書式設定
本文は、「～である調」で記述し、下記の設定を厳守して作成する。なお、採択された原稿は写真印刷でそのまま学会集録集に掲載します。
 [1行の文字数] 2段組み22文字
 [頁の行数] 45行
 [文字の大きさ(テーマ含む)] 10.5ポイント
 [字体] MS明朝体(全角)英文、アラビア数字(半角)
 [上部余白] 30mm [下部余白] 25mm [左右余白] 25mm